

科目名称	小児看護学実習	学年学期	単位数	時間数
		第3学年 前期～後期	2	90
担当教員	土居 泰子	授業に関わる 実務経験	☒ 有（ 看護師 ） ☐ 無	

【1】 授業概要

小児期の対象を身体的・精神的・社会的側面から統合的に理解し、健康回復・維持・促進させる小児看護学の知識・技術・態度を養う。保育園実習では子どもの成長発達段階の特徴を理解し、日常生活の援助方法・コミュニケーション方法を学ぶ。病院実習では病気が子どもと家族に及ぼす影響を理解し、対象の特徴・健康障害に応じた看護技術・日常生活の援助方法、小児科外来・NICU・病棟における継続看護の実際を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 子どもの特徴を理解し、成長発達を促すための日常生活の援助を見学・実施できる。
2. 子どもを尊重し、成長発達段階に応じたコミュニケーションを実施できる。
3. 子どもの成長発達段階に応じた小児基礎看護技術を見学・実施できる。
4. 子どもを身体的・精神的・社会的側面から捉え、必要な看護を理解できる。
5. 小児科外来、NICU、病棟における他機関・他職種の連携、継続看護を理解できる。
6. 実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1 週 目	保育園実習 ・初日は朝礼に参加し、実習開始の挨拶をする。各自、実習目標を発表する。 ・各自、クラスに入り保育士・保育教諭の指導・助言のもと、園児と関わる。 ・園児と関わることで、発達段階・個性に応じたコミュニケーション方法、日常生活援助の実際を理解する。 ・日々の実習を振り返り、自己の課題を記録できる。	臨地実習
2～3 週 目	病院実習 ・初日に病棟オリエンテーションを受け、小児の特徴に合わせた環境を理解する。 ・受け持ち患児を決定し、担当患児とその家族とコミュニケーションを図る。 ・受け持ち患児の情報を収集し、入院生活について理解する。 ・看護師の指導のもと、病棟で行われている日常生活援助技術、処置・検査を見学および実施する。 ・小児科外来（2日間）、NICU（1日間）の見学から、看護師の役割や他職種の連携、継続看護について学ぶ。 ・日々のカンファレンスに参加し、情報を共有することで学びを深める。 ・最終日に小児科外来、NICU、病棟での実習を振り返り、自己の課題を明確にする。	

【5】 評価方法

小児看護学実習評価の視点を用い、実習目標の達成度、実習記録等の提出物、実習前から実習後までの学習状況、出席状況等により総合的に評価する。

【6】 教科書

なし

【7】 参考書

奈良間美保:系統看護学講座 専門分野 小児看護学 1 小児看護学概論 小児臨床看護総論(第14版)医学書院 2023 (電子版)
 奈良間美保:系統看護学講座 専門分野 小児看護学 2 小児臨床看護各論(第14版)医学書院 2023 (電子版)
 中野綾美:ナースング・グラフィカ小児看護学② 小児看護技術(第4版)メディカ出版 2020

【8】受講生へのメッセージ

3 週間、様々な年齢の子ども、健康な子ども・病気のある子どもとかわります。実習を通して、子どもが健康で伸び伸びと生活する環境を知り、子どもと家族の看護について楽しく学びましょう。